

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。 **カシャ!!**  
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



学校を設計する委託業者と共に意見交換する児童

### 新しい学校にワクワク夢膨らむ

#### ■新しい学校づくりワークショップ

市は、6月21日に榛原地区の小学生、30日には榛原中学生を対象に、新しい学校づくりワークショップを開催しました。

新しくつくる義務教育学校の設計にあたり子どもたちの声を聞く機会として、「ワクワクする『みんなの学校』を考えよう」をテーマに実施。

参加者は、義務教育学校の平面図や模型を見ながら「新しい学校にあったら良いもの」について考え、休憩ができる個室やシアター室、ストリートピアノなど多くのアイデアを出しました。

### 遺物の使い方や市の歴史を学ぶ

#### ■古代体験授業／菅山小学校

菅山小学校6年生が6月11日、同校で地域の歴史について学ぶ古代体験授業を実施しました。

体験授業では、弥生時代などに実際に使用されたとされる土器などを展示し、市の学芸員が解説。授業で紹介された遺物は、市内にある天の川遺跡(大沢区)や相良城(相良区)などで出土された物で、児童は興味深く鑑賞していました。児童は「教科書に載っているような物が近くの古墳や遺跡から出てきたなんて知らなかった」と驚いた様子でした。



弥生時代の村の模型を鑑賞する児童



各航空会社や就航先の観光情報などを紹介するエアラインPRブース

### 空港開港16周年を祝って

#### ■富士山静岡空港開港16周年祭

富士山静岡空港が6月4日に開港16周年を迎えたことを記念し、記念イベントが6月7日と8日に同空港で開催されました。

さまざまなブースの出展や企画が行われ、家族連れなど大勢の人が来場。飛行機の工作体験イベントやパイロットなどの制服を着用できる記念撮影会では、子どもたちの喜び顔を見ることができました。また、ステージでは、K-MIXアナウンサーの牧村一穂さんとDJ Roniさんが登壇し、トークと抽選会が開催されました。

### 塩づくりって大変だ

#### ■塩づくり体験／相良小学校

相良小学校6年生が6月2日、さがらサンビーチにある「さがら塩づくり体験工房『茶々塩屋敷』」で塩づくりを体験しました。

地域ボランティア団体「スマイル」が、江戸時代から戦後まで市内の海岸で行われていた「揚浜式製塩法」により塩づくりを実演。児童は塩づくりの歴史や作業手順について学んだ後、実際に砂浜で塩田をつくり、当時の道具を使って体験しました。体験を終えた児童は「みんなと塩づくり体験ができて楽しかった」と話しました。



当時の道具を使って塩田を耕す児童

### 一人一人の意識を高め、地域防災力向上へ

#### ■令和7年度総合防災訓練

防災意識や災害時の対応能力を高める総合防災訓練が6月29日、市内各地で実施され、市民1万2,141人が参加しました。

近年、9月も猛暑が続く状況から、参加者の健康に配慮し、今年度の実施を6月に変更しました。

午前9時のサイレンとともに、市民は一斉に避難場所へ避難を開始。自主防災会などが中心になり、自助や共助を確認し、地域ごとの災害特性を踏まえた訓練を実施しました。また、庁舎内では、全班体制で情報システム運用訓練などを行いました。



可搬ポンプの操作訓練(片浜区)



生成AIや資料集を使って学習する児童と教諭(6月18日)

### AIが学習を後押し

#### ■学習用生成AIを活用した研究授業

相良小学校は6月、学習者用生成AIを用いた授業を行いました。

市では今年度、効果的なDX活用により問題解決力や創造力の向上につながる先進的な授業を進めるため、生成AIを授業ツールとして市内小中学校に導入予定。自治体規模の導入としては県内初で、本格導入に先立ち今回試験的に行いました。

使用したのは同校6年生の社会科(歴史)の授業。児童は縄文時代などの情報検索や疑問点の解決に生成AIなどを使って学習を深めました。

### 牧之原市が万博で食をPR

#### ■大阪・関西万博で静岡県ブース出展

県は6月6日から8日まで、大阪・関西万博にて静岡の食や自然の魅力を伝えるブース「GEO KITCHEN SHIZUOKA」を出展しました。

県産の食材を使ったさまざまな料理を提供するキッチンカーにて6月8日、本市の特産品である自然薯を使った冷製ポタージュ300食分を来場者に提供すると共に、市の観光などもPRしました。

他にも、お茶染め体験やプラモデル製作のワークショップなど5つのエリアがあり、本県ブースには3日間で約2万人が来場しました。



来場者に「自然薯の冷製ポタージュ 押し麦とともに」(左下)を提供



協定書に押印する同社の葉山大誠取締役部長と杉本市長

### 災害時に施設や備蓄物資で応援

#### ■災害時における避難場所等の提供に関する協定

市と大豊株式会社は6月5日、災害時における避難場所等の提供に関する協定を締結しました。

これは、台風や地震など大規模災害等発生時や発生する恐れがある場合に、同社所有の施設を一時避難場所としての使用や、保存水やトイレ凝固剤などの備蓄物資の提供など応援を実施するもの。

杉本市長は「災害が危惧される中、本協定の締結は市民の皆さんにとっても大変安心できる。今後も市との強い連携の下、ご支援いただきたい」とあいさつしました。